

# 龍谷顕真会会報

## もくじ

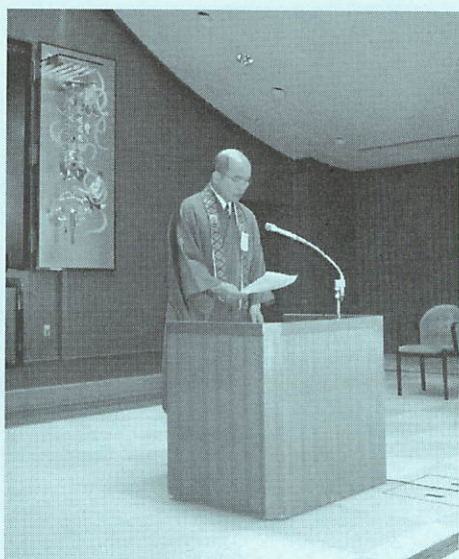
|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| 龍谷顕真会 2008 (平成 20) 年度『総会』グラフ    | 2     |
| 龍谷顕真会『総会記念講演』講演録                | 3~11  |
| 龍谷顕真会『第 16 回海外視察』開催報告           | 12~16 |
| 会員名簿及び 2008 (平成 20) 年度会員活動報告    | 17~19 |
| 2008 (平成 20) 年度 事業報告・会員動静・事務局より | 20    |



『第16回海外視察』オーストラリア開教事務所にて

# 龍谷顕真会総会グラフ

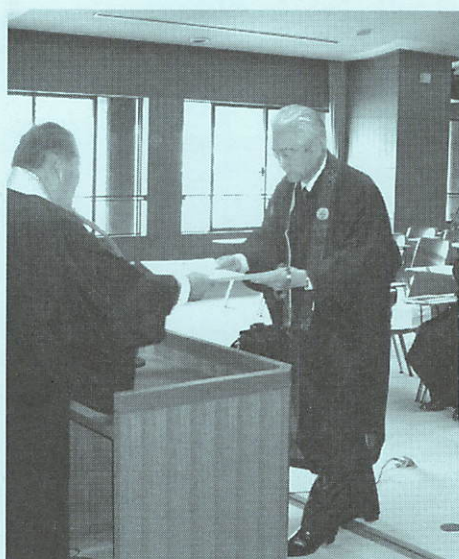
開催日 二〇〇八（平成二十）年五月三十一日（水）～三十二日（木）  
会場 宗務総合庁舎三階 大会議室・きた村（懇親会）



▲開会式での不二川総長挨拶



▲開会式での荒木代表世話人挨拶



▲柴田賛助会員受勲の特別表彰



▲藤谷前代表世話人の特別表彰



▲懇親会の風景



▲総会での協議風景

## 龍谷頭真会総会記念講演

開催日 二〇〇八（平成二十）年五月二十二日（木）

講師 参議院議員 藤谷光信 師  
内容 国会議員として思うこと



皆さん、こんにちは。藤谷でございます。

さて、普段の私の生活は、朝の八時から公的な委員会とか、連絡会議とか、ヒアリングとか、部会などがあり、忙しくしております。それぞれが大体四十五分ぐらいです。例えば、「宗教法人法」のことでしたら文科省から担当者呼んで説明を求める

といったような形です。あらゆる分野にわたって熱心に議論が行われ、医療の問題とか年金、国土交通省の問題、外交防衛の問題などです。

参議院はほぼ月・水・金の十時から本会議が開かれ、議案の趣旨説明が大体十五分。火曜日と木曜日が委員会の日です。私は、文教科科学委員会と災害対策特別委員会に入っております。また、少子高齢化・共生社会に関する調査会にも所属しています。

先日は文教科科学委員会と、一昨日は内閣委員会に出ました。今、ねじれ国会と盛んに言いますが、殆どの議案は両方の歩み寄りです。民主党が出したものの、自民党が出

したもの、内閣府が出したものを突き合わせて調整をしながら決定します。

「宇宙基本法」もたいへん大事な法律です。宇宙開発技術振興議員連盟というのがあります。この前はエンデバーから乗組員六人が、NASAの宇宙服でやって来ましたが、土井さんが宇宙遊泳をして「きぼう」というモジュールをつなぎましたが、日本が莫大な出資をしているので、国会にお礼に来られました。

基本法の質問に立ってくれと言われました、おとといの二十日に質問いたしました。私がトップで四十分、次に、民主党の人が二十分、その次に自民党が四十八分、それから、公明党が二十分。社民党が十分、共産党が十分。これは議席数によって決まります。

質問に対しましては、議員が提案した案件には議員が答弁します。内閣が提案した

ものは政府の役人が答弁します。この件は民主党と自民党が組んでやりましたので、民主党の野田佳彦さんと、細野豪志さんが答弁に立ちました。私は「宇宙開発も大事だけれども、日本国憲法に基づいた平和憲法のもとで宇宙開発を行わなければならない。人工衛星で地球を見ることは、即、軍事用だという考え方があります。日本はそうでなくて、気象とか、農業とか、あるいは災害、そういうことに使うという宇宙開発基本法でなければいけないのではないか」と質問をしました。「世のなか 安穩なれ」というのが私の基本的な精神でございます。「宇宙開発法」は各国が持っています。日本ではNASAに協力するJAXAというのをつくっております。外国のパイロットは軍人ですが、日本は軍人ではありません。科学技術者として、外国の乗組員と協力して実績もあげておられます。

今度の「宇宙開発基本法」は、総理大臣

が責任者で、その次に国務大臣をおきます。そして、宇宙開発戦略本部をつくって、経済界も科学技術関係者と共に一元化していくというのが「宇宙開発基本法」なのです。その時に、国務大臣は防衛大臣を兼ねたらいけないということを私が提案しました。その後、多くの議員から「藤谷先生が非常にいい発言をされた」と言われました。

私は宗門人という立場をもって、「宗教法人法」のときも発言しました。私学助成についても質問しました。皆さんは私が浄土真宗、お西の僧侶だと知っています。前川清成参議院議員が、「藤谷さん、あんた、本願寺やね」と言うから「そうです」と言う。「僕はね、弁護士で真宗門徒です」と。奈良県だそうです。お父さんはお寺の総代さんで、よくお参りされるそうです。その息子さんが本願寺に参ったことがないと言われます。それで私は、築地間真会への入会を勧めました。先日、本山から、一月の

御正忌報恩講法要のご案内がありました。ご本人は来られませんでしたがお父さんがお参りになられたそうです。息子に本願寺からご案内があったと、すごく喜ばれたそうです。国会議員になることは、一般社会では高く評価されますが、お父さんにとってはそれよりも、ご本山からご案内があったということの方が尊いのです。

私の母親は、広島県の大崎上島の本ノ江というところで生まれました。昔は、お寺の台所のそばには必ず井戸がありました。母がそこで、魚のうろこを剥がしていたのを、思い出します。私は六歳ぐらいの時、母親に「お母さん、僕は何のために生まれてきたんだろうか」と聞きました。小学校一年生の時ですから、昭和十八年です。戦争が始まっていましたから、克明に覚えています。今のお母さんなら、どう答えるでしょう。「そんな難しいことを聞くな」と

か「ばかなことは言いなさんな」とか言う  
かもしれません。私の母は、顔色一つ変え  
ずにうろこを取りながら「それはお国のた  
めだよ」と答えました。当時は戦争中です  
から「お国のため」で当たり前なのですが、  
それがずっと私のベースになっているよう  
な気がするのです。あの頃の「お国のため」  
というのは、戦争をするための「お国のた  
め」であったのですが、成長しましてこれ  
は、「世のため人のため」に生きている、と  
なっています。

多くのお寺と同じように、私のところも  
庫裏を壊して新しいものにしましたが、し  
まったな、あそこだけ残せばよかったかな  
と、今思います。目をつぶってじっと考え  
たら、さまざまなのが思い出されます。  
昔のお寺の台所といえは薄暗く、下がコン  
クリートで水がびちゃびちゃしているよう  
な所で、くど(かまど)があったな。あそこ  
に割れたガラスがあり、ちょっとした流し



があった。古い戸棚があって、下の方は汚  
れていた。お父さんが台所の正面に座って、  
あんな座布団があったか思い出します。  
私は今七十二歳ですが、子どもの時のそう  
いう色んな経験や情景が生きていくうえで、  
大きな意味を持っているように思われます。  
岩国にも米軍の爆撃がありました。昭和  
二十年の五月ごろから、度々、爆撃を受け

ていました。最後の八月十四日に大爆撃が  
ありました。ポツダム宣言受諾のあとです。  
もう戦争は負けたんですよ。負けたけれど  
も、残りの爆弾をみんな落としたのですね。  
ちょうど岩国駅へ山陽本線の列車が逃げて  
来たのです。十何両編成の客車が駅へ逃げ  
て入るのです。上りも下りも入りました。  
そのときに、爆弾が落ちました。私は、小  
学校三年生だったのでよく覚えています。  
その時、五百二十何人死んで、行方不明が  
三十名でした。戦後もしばらく「ここにお  
骨がないか」「うちの息子があの列車に乗っ  
たはずだ」「うちの娘が乗ったはずなんだ」  
と探しにこられる方がたくさんいらっしや  
いました。学生もいたでしょうし、学徒動  
員の人、勤労奉仕の人もいたでしょう。そ  
の時の爆弾の穴が、昭和二十五年頃まであ  
りました。

私のところは、原爆の爆心地から直線で  
四十キロぐらいのところでした。疎開で四年

生以上は学校へ行き、三年生以下は分散をして学校に來なくていいということでしたので、私のお寺で授業がありました。八月六日の朝八時、お寺で授業が始まるとういう時にパッと光がありました。見えるものが全部ピンク色になりました。その瞬間、景色がモノトーンです。ピンクの濃い薄いだけです。先生もどうしていいのかわからず授業を続けていたら、二分後にゴースト來たのです。先生は黒板を押さえて「みんな、静かにせえ！」と叫び、子どもはすぐ机の下へ。あのころは避難訓練ができていましたから、パッと眼と耳を押さえて机の下へ入る子がいる。ダーッと走って、自分の下駄を取りにいく子、弁当だけ持って本堂に入る子。そして静かになりました。午後には東の広島の空に真っ黒い雲が立ち上っていました。そして血だらけの人がたくさん逃げてきました。そういう経験もしております。

もう亡くなられましたが、後藤田正晴さんという偉い人がおられました。「後藤田五訓」というのがあり、こんなことを言われています。「とにかく戦争をしないようにしなければいけない。国と国が戦争をしなくてすむようにするのが国会議員の責務。あとは何もせんでもええ」と言われました。後藤田さんは、軍隊の経験があるのですね。その人の言葉です。至言だと思います。外交なら外交をうまくやる、あるいは経済なら経済をうまくやる、そして戦争にならないように持っていくのが、国会議員の役目だと言われました。

現在、私は東京に住んでいますから、できるだけ築地本願寺にお参りしております。四月から新門さまが副住職として来られ、親鸞聖人のご誕生の法要がありました。藪内の若宗匠が出られて、本堂で献茶がありました。私は、藪内のお家元のなさる本当

の献茶を初めて見ました。清々しい中に、美しい作法にひきこまれました。本堂は満堂でした。やはり新門さまが来られてから築地別院には、活気がみなぎっているようです。新門さまの導師で『正信念仏偈』が勤められました。出勤された僧侶は、結衆が両方で十二、三人。そして、外陣の方は樂員が三十人おられました。築地の雅樂会と職員も十人ぐらいいました。内陣の余間と、列衆、結衆合わせて約百人。そして『御文章』の拝読、ご法話がありました。バスが境内に十四、五台来ておりました。茨城、栃木、静岡などからのお参りだそうです。本山は、首都圏センターというのをつくって、非常に力を入れているのです。日本の人口の三割ぐらいが関東圏です。神奈川とか、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、あの辺りを合わせましたら、三千万人から四千万人はいいるのではないのでしょうか。やはり、東京というのをないがしろにはでき



ないと思います。だから今、本山が首都圏に力を入れて頑張っているのです。

六月二日に、龍大時代の同級生が東京で「離郷門徒の会」をやるというって、「九州の豊前市から四十人ほど来るから国会を見学させてくれ」と言うので、案内をすることになりました。飛行機で羽田へ来て、羽田から千鳥ヶ淵に行って、その足で国会に来ます。私が国会の中を案内して、その後、築地本願寺へ参り、そこで法要。それには

新門さまもお出まします。その時に、東京にいる福岡のお寺の関係の門信徒の方たちが二百人程集まりました。組長さんも一緒です。なかなかいい発想をしているなと思いました。アイデアの旅行だと思いました。

今、幼児の虐待や家庭崩壊、自死の問題が盛んに取りざたされています。

昔から親殺し、子殺しというのはありました。最近は報道が速いし、テレビで繰り返し巻き返しますから、特にむごたしく感じるのかもわかりません。以前より今の方が世の中はおかしくなっていると思います。『佛説阿弥陀經』の中にあります。五濁悪事悪世界。劫濁、見濁、煩惱濁、衆生濁、命濁、と言われ、本当に末世の今の世の中です。私たちが袈裟をかけて、そして、日々の政治に地方で関わっています。僧侶として、他の議員とは違う動きがあった

てしかるべきではないかと思えます。それも、右とか左とか、与党とか野党とか、アメリカとかロシアとかではなくて、もっと高い見地から、やはり「世のなか安穩なれ」との願いをもって頑張っていかなければいけないのではないのでしょうか。

私は築地聞真会に入っています。築地聞真会は、政界で活躍する門徒の人が仏法をお聴聞するために、前門さまがおつくりになられました。私たちの龍谷顕真会も、前門さまに命名をしていただきました。築地聞真会には会員専用の「門徒式章」があります。なかなか立派でありまして、奈良の前川弁護士さんがすごく喜んで、それをかけています。私たち龍谷顕真会も、揃いの生地で輪袈裟を作ったらいいかなと思って、以前から提案しています。龍谷顕真会の会員、賛助会員の人、元会員だった人も、この袈裟がかけられるようにしてはどうかと思っております。

話があちこち飛躍しましたが、以上でお話を終わります。今日はどうもありがとうございました。ございました。

(講演終了)

## 質疑応答

○会場1 認定こども園について質問します。一元化というものについては非常に難しいですね。子どもは一つだと思うのですが。

うちは二階が幼稚園で、下が保育園で、新しく、今、四年目に入っています。来年からはいよいよ、三歳、四歳、五歳児は、時間を十時から二時までとか決めて、上に上げてもいいのです。そして、それ以外の時間は保育所を使う。これに踏み切って、幼保一元化のために主任を新しく一人、つくったのです。そういうことで動きだしています。

大変なのは、学校法人はお金のやりくりができるけれども、保育園は福祉法人会計といって、会計口が別ですから、出ないのです。そういうようなことで非常にやりづらくて。ある所に行ったら、一階が飲み屋、二階が何だか、三階が認定こども園で、四階までアパートになっているところが認定こども園として認可になっていました。僕はこれは正当ではなくて、要望が伝わらないではないかと思えます。たまたま資料があったものですから、いろいろなことを申しまして、申しわけありません。

○藤谷 私の所も実は幼稚園ですが、完全給食でやっています。それで、認定こども園に手を挙げたのです。そうしたら、できないと言われました。県庁の職員が「まだやらない方がいいですよ」と。今、全国で百二しかないのです。来年はそれを二百三十にする予定なのです。

公立の保育所が中心の考えです。だから、幼稚園ではないのです。公立の保育所です。結局、今度も幼稚園の評価というものが盛んに話に出ていますけれども、いわゆるお寺関係でしたら、私立で幼稚園、保育園をやっているわけですよ。そういう人たちの意見を全然聞かないのです。そこに問題があると思います。だから、できるだけ発言していきます。

この前の選挙の前に、小学校の「いただきます」の話をしました。今、学校では「いただきます」「ごちそうさま」と言わないのです。

○会場2 僕のところも、保育所で「いただきます」「ごちそうさま」をやっていると言ったら、親が言わなくてもいいと言って、止められた子どももいます。たまたま僕が出たから、何を言っているんだと言ったら、「手を合わせるのは宗教教育だ」と

言うのです。手を合わせるのとは何かというと、宗教教育ですと言うのですから、役人がですよ。

○藤谷 わからない人がいる。保護者への教育をしないといけないですね。

私が以前いただいた本で、子育ての本があります。幼稚園、幼少、学齢前の子の親に渡す本です。小学校低学年用、小学校高学年用は、五年前からもう出ているのです。それは児童センターとか、子育てセンターには置いてあるのです。子育て、親の不安とか、Q & Aとかあるのですね。それで、終わりの所に、各県の出先のここへ問い合わせをとという箇所があり、そこには福祉事務所とか、あるいは教育委員会とかが載っているのです。

その中に、YMCAが載っています。日本キリスト教団が載っています。まことの保育をやっている浄土真宗の方がはるかに

多いですよ。全国的にも、保育園、幼稚園の組織から言っても。それが出ていないのです。全然問い合わせも何もしないのですね。本当にもっと調査をして、例えば、天理教の幼稚園の協会がある。浄土宗も幼稚園の協会があるはずですよ。子育てとか幼児の教育をみんな一所懸命やっているのですから。もしかのときにはこういう所に問い合わせしてください、西本願寺のこういう部門に問い合わせなさい、と載ってもいいはずです。YMCAやキリスト教が載っているのですから。

私は、たまたま幼稚園の園長もやっており、文部科学委員でありますから、これも私の課題であります。私たち宗門人が、そういうお役所の中にも、いくらかの発言を今までしてきたはずなのです。本当はそういうな、今、いろいろな審議会があります。国際基督教大学の先生とか、上智大学の先生とか、たくさん入っています。龍谷大学

の先生が何人、国の審議会に入っておられるでしょうか。これも油断しないで、われわれがしっかり発信をしていかないといけないと思っております。

○会場3 簡単に結構ですが、後期高齢者の問題は当面どう推移していくのかということ、衆議院議員選挙の見通しといいますか、任期満了は来年ですけれども、それまでの形なり、というようなことを、先生の感触で結構ですから、お聞かせ願いたいのですが。

○藤谷 後期高齢者医療制度は、今、自民党の若手の議員さんからも大反対が出まして、そして、天引きはやめさせようという声が出ております。けれども、これをまとめるということになりますとなかなか難しいです。なぜこんなものをつくったか、自民党の議員だけで強行採決でやったのです。実行から二年前に決まって、四月十五日か

ら天引きが始まったのです。天引きが始まってみて、みんなわかってきたわけですね。それで、これは見直しをします。

廃案ということになりますと、たいへん難しい問題でありますので、内容の見直しで決着するのではないかと思います。

選挙は、今、福田さんの支持率も二十パーセントを割りましたし、それから、山口の補欠選挙では二万票で大差がついて、民主党の方はこれで勝って解散に追い込むと言っていたのですが、逆に勝ちすぎて、自民党側では絶対に解散できないということで、解散が遠のいたというのが、民主党幹部の方の感触だと思います。

○会場 4 先ほどの幼保一元化のお話に関連することですが、私たちの地元では、保育でやっている私立のお寺さんの幼稚園とか、同じキリスト教や仏教系の保育園とか、かなり老朽化をしてくまして、建て替えを

市の窓口にどんな要望しているわけです。

先生も国会の方で、文科省と厚生労働省の話が先ほどありましたが、お調べいただきたいのですが、いわゆる保育園の場合、厚生労働、福祉の方ですね、そちらになりますと、土地の手当から建物の手当から、ほとんど九割がた補助金、助成があるわけですね。ところが、幼稚園となりますと文科省になりますから、全く補助金がない。多くても三分の二以下、あるいは三分の一しかない。土地の手当なんかも一切ない。同じ幼児、いわゆる乳幼児の保育、教育に携わっていて、保育園に比べてなぜ幼稚園をもっと力を入れて助成しないのかということ、市の教育委員会や県の教育委員会に対して、県会議員も巻き込んで申し入れを行っています。

調べてみると、やはり国の制度として文科省のほうの手当が非常に薄い。このへんは、やはり同じ小さな子どもたちを預かる

ので、保育と教育と、ほとんど違いなんかはないと思うのです。これは一般の国民感情です。その所で大きな補助金の違いがあるということ、もう少し鋭く突っ込んでいただいて、国の段階でそういった体制を、都道府県に対して指導していくくれるような体制を組んでやっていただきたい。

私は市の教育委員会が「もっともですが、県が認めてくれんです」、あるいは「国が認めない」ですから、こういう話ばかりなのです。県会議員の方にも今、言っています、先生が先ほどおっしゃったように、お膝元の委員会におられるわけだから、ひとつ調査研究を進めていただきたいと思います。

○藤谷 わかりました。皆さん方は行政に携わっておられるのでよくわかっていると思います。保育園の場合は市町村長に設置する義務があります。また市によっては、

市長さんが熱く考えている所は、うんと熱いんですね。そうでないところもあります。

小中は義務教育ですから、これも、市町村長の責任下で設置するんですね。その代わり職員は、これは公立の場合は県の職員で、県の援助でやっていくわけですね。幼稚園とか大学は逆になるのです。幼稚園は、設置してもいい、しなくてもいいというような感じになっている。だから一元化して、幼稚園も保育園も担当部署が一緒になると、そのへんの所が解決するのではないかと思います。

私はお寺の立場でいきますから、お寺でやる幼稚園・保育園がちゃんと成り立つようにするのが私の役目だと思っています。

保育所側の人は、保育所を中心に考えます。幼稚園の人は幼稚園のほうを中心に考えます。やっぱりそれは長い間、幼児教育はそういう二つの流れでできているわけですね。ですから、そのへんで難しい所がある

のはよくわかります。中央の方でそのようなことができれば、うんと改善が速いと思います。ありがとうございました。

○会場5 小学校で学校間の学力差がものすごくあります。いわゆる全国のテストをやりましたよね。あれも公表しろと言って、ああじゃない、こうじゃないと教育委員会が実に横着というか、校長も言わない。力がない。だから、保護者がしっかりしなければだめなのでしょうが、もうちょっと学力をしっかりと見てもらいたいですね。国の方針というのは、子どもの教育の向上でしよう。言うことは一人前のことを言いながら、やっていることはでたらめなのです。本当に。韓国やインド、ものすごいでしょう、あの力。今の医学部は東大よりも、はるかに向こうの方がしっかりしていますね。それはもう子どもの教育でも、日本はだらない。弱いです。特に小学校、中学校も

そうですけどね、学校によって学力差がものすごくあるんですよ。やはり教師の問題ですね。先生の方も、そのへんの根本的な問題にメスを入れてもらわないと困りますね。

○藤谷 学力試験をやった後で、その結果が出て、今回の大問題になっています。

○会場5 ひとつよろしく願います。

(終了)

# 一日 程一

| 日次 | 月 日         | 現地<br>時間                 | 内 容                                                                        | 場 所                                                      |
|----|-------------|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 1  | 7/14<br>(月) | 19:50<br>20:30<br>21:50  | 関西国際空港集合<br>結団式<br>関西国際空港発                                                 | 関西国際空港                                                   |
| 2  | 7/15<br>(火) | 7:44<br><br>午前<br><br>午後 | ブリスベン空港着<br><br>到着後、市内観光<br>昼 食<br>市内観光<br>チェックイン<br>夕 食<br><br>宿 泊        | ブリスベン<br><br>ゴールドコースト<br><br>ゴールドコースト<br>市内<br>ゴールドコースト泊 |
| 3  | 7/16<br>(水) | 午前<br>8:55<br><br>午後     | 朝 食<br>ブリスベン空港へ<br>空路、シドニーへ<br>シドニー空港着<br>福祉施設研修<br><br>市内観光<br>夕 食<br>宿 泊 | ホテル<br><br>シドニー市内<br><br>シドニー市内<br>シドニー泊                 |
| 4  | 7/17<br>(木) | 10:00<br><br>午後          | 朝 食<br>開教事務所訪問<br><br>昼 食<br>市内観光<br>夕 食(さよならパーティー)<br>宿 泊                 | ホテル<br>シドニー市内<br><br>シドニー市内<br>シドニー泊                     |
| 5  | 7/18<br>(金) | 午前<br>11:30<br>21:00     | 朝 食<br>シドニー空港へ<br>シドニー空港発<br>関西国際空港着<br>解 散                                | ホテル<br><br>シドニー空港<br>関西国際空港                              |

## 『龍谷顕真会第十六回海外視察―オーストラリア―』開催報告

開 催 日  
視 察 先  
参 加 者

二〇〇八(平成二十)年七月十四日(月)～十八日(金)  
オーストラリア(ゴールドコースト・シドニー)  
十二名

# 《7月14日（月）》

- 19:50 関西国際空港集合
- 20:30 【第16回海外視察結団式】（国際線出発ロビー）
- ・開式のことば
  - ・挨拶：団長 荒木行也（代表世話人）
  - ・挨拶：事務局長 富永慎秀
  - ・団員紹介
  - ・添乗員紹介ならびに旅程説明
  - ・事務連絡
  - ・閉式のことば



結団式 挨拶：荒木代表世話人



挨拶：富永事務局長



旅程説明

- 21:50 関西国際空港発＜JQ-18＞
- 機内泊

# 《7月15日（火）》

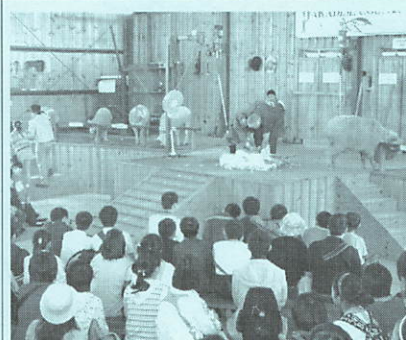
- 7:44 ブリスベン空港着
- 8:20 ブリスベン空港発＜専用車＞
- 10:00 パラダイスカントリー着
- （広大な敷地を持つ牧場でファーム体験）
- 昼 食



パラダイスカントリーにて



パラダイスカントリーにて



羊の毛刈り（十川さん）

- 13:00 専用車にてゴールドコースト市内へ
- 14:00 市内観光
- 15:00 専用車にてホテルへ
- 15:30 ホテルチェックイン
- 19:00 夕食（ゴールドコースト市内レストランにて）
- 宿泊（サーファーズパラダイス マリオット リゾート&スパ）

# 《7月16日（水）》

- 5:45 ホテル発＜専用車＞  
 8:55 ブリスベン空港発＜JQ-18＞  
 11:30 シドニー空港着  
 ※ブリスベン空港のシステムダウンにより予定より1時間遅れで到着  
 渡辺事務所長と合流  
 12:15 福祉施設着（ウェズリーミッション・フランク ビッケリービレッジ）

【住所：101 Port Hacking Road Sylvania 2224】

## 【福祉施設研修】

- ・概要説明（オーストラリアの福祉制度・施設概要について）
- ・昼食
- ・施設見学
- ・質疑応答

|                                                                                     |                                                                                     |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|   |   |   |
| 福祉施設                                                                                | 施設職員と雑談                                                                             | 研修（制度・概要説明）                                                                          |
|  |  |  |
| 施設にて昼食                                                                              | 施設見学（入居者宅にて）                                                                        | 記念撮影                                                                                 |

- 14:30 福祉施設発  
 シドニー市内見学（オペラハウス、州議事堂 [車窓]）  
 16:30 ホテルチェックイン  
 18:00 夕食（ホテル内レストランにて）  
 宿泊（ザ グレイス ホテル）

|                                                                                     |                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |
| オペラハウス前                                                                             | 渡部事務所長を交えての夕食                                                                       |

# 《7月17日（木）》

9：20 ホテル発＜専用車＞  
10：00 オーストラリア開教事務所着

## 【参拝式】

- ・勤行（讃佛偈）：調声・荒木代表世話人
- ・焼香
- ・記念撮影

## 【概要説明】

- ・渡部開教事務所長よりオーストラリア開教地の歴史及び現況について説明いただいた

|                                                                                    |                                                                                    |                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|   |   |   |
| オーストラリア開教事務所                                                                       | 勤行（調声：荒木代表世話人）                                                                     | 勤行                                                                                   |
|  |  |  |
| 渡部事務所長より説明                                                                         | 記念撮影                                                                               | 記念撮影                                                                                 |

11：30 オーストラリア開教事務所発  
12：00 昼食（シドニー市内レストランにて）  
13：30 市内見学（ボンダイビーチ、DFS）  
17：30 ホテルチェックイン  
19：00 夕食（ハーバーサイドレストランにて）  
宿泊（ザ グレイス ホテル）

# 《7月18日（金）》

8：30 ホテル発＜専用車＞  
9：30 シドニー空港着  
11：30 シドニー空港発＜JQ-17＞  
21：00 関西国際空港着

## 【第16回海外視察解散式】（ホテル日航関西空港ロビー）

- ・挨拶：団長 荒木行也（代表世話人）
  - ・事務連絡
- 解散



『シドニー本願寺報』において次のとおり掲載いただきました(記事抜粋)

## 龍谷顕真会一行が開教事務所を訪問

七月十七日、「龍谷顕真会」のご一行(荒木行也師代表世話人)がシドニーを訪れて、開教事務所を参拝し、視察が行われました。

お参りの後、渡部開教事務所長からのこれまでの経緯と現状説明があり、その後、質疑応答が行われました。広いオーストラリアの地で、たった一人で開教使として勤める所長の一年を通じた様々な活動、そしてその中の苦労話などが紹介され、御一行の皆様は現状につき理解して頂く事ができました。

この参拝日の前日、一行は、シドニー南部に位置する高齢者施設の視察という事で、Wesley Missionの経営するシドニーで最大規模を誇る施設として知られている『Frank Vickery Village』を訪問し、どのようなサービスをオーストラリアでは行っているのかにつき、管理をしている方より説明を受け、施設内の公共施設や個々人の住宅を訪問。渡部開教使もこの視察に合流させてもらい、オーストラリアの高齢者施設につき貴重な情報を得ることができました。

合掌

## 第十六回海外視察レポート

福岡・三門南・阿弥陀寺 河野 フチヨ

一日目、出国。福祉施設視察、開教事務所訪問、オーストラリアってどんな国かと沢山の期待を胸に参加させていただきました。

二日目、南半球オーストラリアは真冬、でも日本の春かな、コアラ、カンガルーといろいろとイメージを膨らませ、十時間飛行の疲れも吹っ飛び大地を踏みしめました。おもわず「暑い!」。大型バスに乗り市内観光。両サイドに茂るユーカリ。広大な大地を走るハイウェイ、気持ちも大きくなったような気がしました。触れ合う人々にも寛大さと親しみを感じました。(日本の就労の多いことも驚きでした)

三日目、ゴールドコーストからシドニーへ福祉施設研修「ウェズリーミッションフランクビッケリービレッジ」。老人の自立生活者が住居と介護が必要な老人の為にホテル、所長さんの話また見学から各々に合ったケア、サポートがシステムよくなされていると思いました。私は一寸寂しさ

も感じました。終の棲家は我が家、在宅ケアと思っている自分に、自分の生き方の振り返りの機会にもなりました。

通訳の方にシドニーの政治、教育、労働など聴くなか、日本との比較、格差など理解することが出来ました。おりしも世紀の祭典ワールドユースデー開催中、全世界の若者が集結し、生き生きとした姿、熱気も思い出の一ページとなりました。

四日目、開教事務所訪問、所長である渡部重信氏は穏やかな中にも責任感を思わせました。指針、活動内容を聞くことで、一所懸命努力発信されている様子が伺えました。仏教徒として陰から応援したいと思いました。

五日目、帰国。今回同行した皆様は、私の大先輩、行動(経ち振る舞い)優しさなどから出会いを大切にしたいと思いました。目的である親睦と教養の向上は少し達成できたかな。この体験を大事に心がけていきたいと思います。

本当に有意義で貴重な体験、経験をさせていただきましことに感謝申し上げます。

二〇〇八(平成二十)年度

## 会員名簿及び活動報告

① 議会役職

② 所属委員会および役職

③ 地域団体役職

④ 所属党派・役職

⑤ 本年度の取り組みについて

④ 自民党

⑤ 新しい北見市の都市再生、子育て支援と教育問題、産業振興に全力で取り組む。

ホームページアドレス <http://www.sakurada.gr.jp>

松平 樹人 北見市議

北海道・北見東・常楽寺前住

② 総務教育常任委員、国内国際親善交流委員  
消防組合議会議員

④ 無所属

⑤ 北見市、留辺蘂町、常呂町、端野町 平成十八年 一市三町合併。

二十年度・新市市庁舎移転改築

・日本赤十字病院の建て替え  
・駅前周辺都市再生

横山 善道

山県市議

岐阜・黒野・金證寺住職

寺本 克磨

川越町議

東海・朝明・法雲寺衆徒

① 総務建設常任委員長

② 議会運営委員、環境クリーンセンター議会議員、都市計画審議会委員、下水道審議会委員

⑤ 議会活動の活性化が求められている。現在行政施策の中心は財政の安定化を維持しつつ福祉面で特に充実した安心・安全の社会を建設することである。町民の幸せを念じながら、行政改革に注力します。

山田 眞澄

元東員町議

東海・員弁・浄源寺前住職

大塚 泰雄

元高島市議

滋賀・高島・通安寺住職

山本 隆俊

茨木市議

大阪・茨木東・称名寺住職

和田 秀教

和歌山市議

和歌山・和歌山北・正光寺衆徒

波多 正文

尼崎市議

兵庫・阪神南・正光寺住職

亀井 義昭

中川町長

北海道・上川北・極楽寺衆徒

谷口 隆徳

士別市議

北海道・上川北・常德寺住職

芳滝 仁

幕別町議

北海道・十勝・顕勝寺住職

櫻田 真人

北見市議

北海道・北見東・本覚寺衆徒

② 福祉民生常任委員会副委員長

議会運営委員会

③ (社) 北海道私立幼稚園協会支部長理事

## 賛助会員名簿

大前 寛乗

坂出市議

四州・飯山北・善光寺住職

③ まちづくりグループ発揮会会長

山口県中小企業経営者協会下関支部長

④ 自由民主党

米沢 痴達

周南市議

山口・熊濃・真光寺

⑤ ・介護福祉行政の充実と体制整備

・地産地消の推進と道の駅開設

② 議会運営委員会、環境教育委員会

・地域における音楽イベント（音楽祭）の

③ 連合自治会顧問、社会福祉協議会理事、他

立上げと情報発信・地域文化の創造とイ

④ 無所属

メージアップ

⑤ 徳山駅周辺整備事業

・少子高齢化対策・若者定住促進対策

ホームページアドレス

食育について

<http://homepages3.nifty.com/cbi-inoue/>

櫻田 正弘

元北見市議

北海道・北見東・本覚寺衆徒

島田 明

山口県議

山口・防府・善正寺住職

荒木 行也

元みやま市議

福岡・三門南・阿弥陀寺住職

花木 肇正

元大島町議

高岡・射水・称念寺住職

弘中 正俊

防府市議

山口・防府・乗円寺住職

長嶺 興也

美里町長

熊本・益南・善林寺住職

嶋田 政憲

元勝山市議

福井・福井・本覚寺衆徒

久保 玄爾

防府市議

山口・防府・信行寺住職

崎田 要司

清武町議

宮崎・宮崎・長明寺住職

小泉 玲子

元御津町議

兵庫・網干・浄泉寺衆徒

窪田 享信

元大田市議

山陰・大家・願林寺住職

井上 隆純

下関市議

山口・豊浦西・正音寺住職

① 総務委員会委員長

② 総務委員会委員長

竺川 紹隆

元金城町議

山陰・福屋・浄光寺住職

櫻井 賢三

元湯来町議

安芸・佐伯奥・正光寺住職

藤谷 光信

元山口県議

山口・岩国・教蓮寺前住

熊谷 宗圓

元岩国市議

山口・岩国・西福寺前住

秋里 勝道

元美東町議

山口・美祢東・明樂寺住職

佐藤 哲紹

元湯布院町長

大分・湯布院・長因寺住職

志賀 諦了

元久住町議

大分・岡・明尊寺住職

前原 弾邵

元深田村長

熊本・球磨・善正寺前住

佐々木 一法

元五和町議

熊本・天草下・西明寺住職

## 寄贈誌のご紹介

高島市議会議員 大塚 泰雄

▼高島市議会議員 大塚泰雄 後援会だより

『ふれあい』第二十七号（平成二十年四月発行）・

第二十七号 号外（平成二十年四月発行）

賛助会員 藤谷 光信（参議院議員）

▼参議院議員 藤谷光信 活動レポート

『世のなか 安穩なれ』第一号（平成二十年五月

発行）・第二号（平成二十年七月発行）・第三号

（平成二十年十月発行）・第四号（平成二十一年

一月発行）

## 龍谷顕真会役員

代表世話人

荒木 行也（元みやま市議）

世話人

第一ブロック〈北海道と歌山〉

大塚 泰雄（元高島市議）

山本 隆俊（茨木市議）

第二ブロック〈兵庫と山口〉

大前 寛乗（坂出市議）

弘 中正俊（防府市議）

第三ブロック〈九州〉

崎田 要司（清武町議）

賛助会員

柴田 薫心（元札幌市議）

竺川 紹隆（元金城町議）

会計監査員

寺本 克磨（川越町議）

山田 眞澄（元東員町議）

## 二〇〇八(平成二十)年度 活動報告

二〇〇八(平成二十)年

四月二十四日(木)

会 計 監 査

第一回世話人会

五月二十一日(水)

第二回世話人会

親鸞聖人降誕会法要参拝

総 会 懇 親 会

五月二十二日(木)

総 会

【講師】藤谷光信師(参議院議員)

【講題】国会議員として思うこと

七月十四日(月)～十八日(金)

第十六回海外視察

【開催地】オーストラリア

(ゴールドコースト・シドニー)

二〇〇九(平成二十一年)

一月十五日(木)

御正忌報恩講参拝

二月六日(金)

第三回世話人会

## 会 員 動 静

【新入会員(賛助会員)】

嶋田 政憲

〈元勝山市議〉

福井・福井・本覚寺衆徒

## 事務局より

### 会費・特別会費納入のご依頼

年会費 五、〇〇〇円(普通会員)

二、〇〇〇円(賛助会員)

特別会費 一〇、〇〇〇円(当選年次)

会費・特別会費未納の方は、事務局まで

ご連絡の上、ご納入下さいますようお願い

いたします。ご不明の点がございましたら

事務局までご連絡下さい。

### 新会員勧誘のお願い

地方自治体の首長・議員に公選された宗派の僧侶の方で、本会に未加入の方をご存知でしたら、加入ご推奨いただくとともに、事務

局までご連絡下さい。

### 公職選挙宗門推薦について

今後、選挙の施行があり立候補を予定されている方は、宗門推薦をいたしますので事務局までご連絡下さい。

### ホームページについて

龍谷顕真会ホームページのアドレスが次のとおり変更になりました。ブックマーク・リンク等のご変更をお願いいたします。

<http://r-kenshin.hongwanji.or.jp/>

『龍谷顕真会会報』(第二十七号)

二〇〇九(平成二十一年)三月発行

【編集・発行】

龍谷顕真会事務局

(浄土真宗本願寺派)

総局公室〈渉外・広報担当〉内)

八〇〇一八三五八

京都市下京区堀川通花屋町下る

浄土真宗本願寺派宗務所内

電話(〇七五)三七一一五八一(代)